

様式2 輸出事業計画
※申請者名：あづま食品 株式会社 品目：納豆

1. 輸出における現状と課題

【背景（現状）】

近年、日本国内では納豆の消費が頭打ちとなる一方で、健康志向の高まりと日本食人気の影響を受け、海外市場では発酵食品としての納豆への注目が高まっている。特に米国や韓国などでは、ビーガンやベジタリアンの層、あるいは腸活・発酵食品ブームに関心を持つ層を中心に需要が拡大している。

国別の輸出割合は、米国、中国、香港、台湾、韓国で全体の2/3を占めるが、国際情勢等を勘案し、今後の伸びが見込めるマーケットとして、米国、豪州、アジア（韓国・香港・シンガポール）の地域をターゲットとして定め、海外市場の開拓を図っていく。

【課題】

- 製造：食品安全に関する国際認証の取得（FSSC22000）、アレルゲン管理体制の構築
- 販売：販売力の強化

2. 輸出事業計画の取組内容

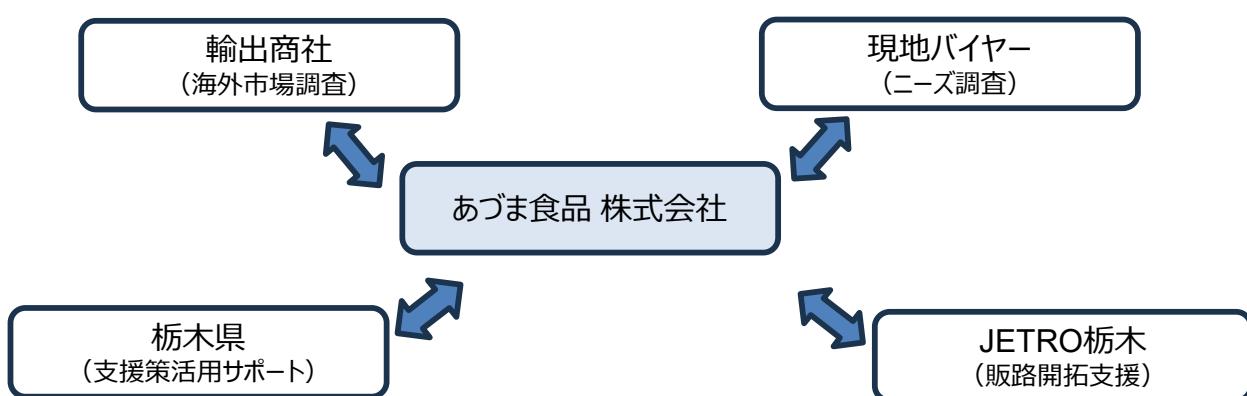
●製造

- ・商社が求めるFSSC22000認証取得のため、栃木工場の隣接地に原料大豆選別及びひきわり加工を行うひきわり加工施設を新築し、ひきわり加工設備及び大豆精選別設備を整備する。
- ・施設整備後、連携しているコンサルタントの指導を受け、栃木工場としてFSSC22000認証を取得する。

●販売

- ・国内外での展示会・商談会への出展、取引先の商社からの情報収集などを行い、現地のニーズに合った販売形態で、国や販売チャネルごとに商品を展開する。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



- P：専門商社・現地バイヤー・JETRO等からの現地情報/規制情報に基づく海外営業戦略の策定
D：既存顧客の輸出商社、日系小売店との取引強化及び展示会等出展による新規商談機会の確保
C：JETROからの情報提供及び商社、現地バイヤーの評価による商品ブラッシュアップや営業方針の改善
A：改善策に基づく商品提案及び営業活動の実施

様式2 輸出事業計画
※申請者名：あづま食品 株式会社 品目：納豆

4. 輸出目標額

	【現状】 (令和7年3月期)	【目標】 (令和14年3月期)
輸出額（円）	9,459万	3億985万
輸出量（kg）	148,183	415,108
主な輸出国	米国、豪州、韓国、香港、 シンガポール	米国、豪州、韓国、香港 シンガポール